

日時：平成30年4月17日（火）20：00～

場所：ふれあい歯科ごとう

出席者（敬称略）：五島、豊田、矢作、澤村、円谷、齊藤

議題：前回検討事項

- ① 新宿区民、65歳以上において、②薬剤、5剤以上を常用している、③口腔乾燥の訴えがある、④2次アウトカムとして食事摂取量が少ない、⑤期間を決めて

栄養相談の現状はどうか。薬局窓口で栄養指導の際に「自覚症状の聞き取り」薬局での商品、自覚症状として訴えの有る方にはうるおいミストなど口腔ケア用品、メンタル系の薬で口の渇きを訴える方が多い。

口が渇くと言った訴えはある。在宅では口の渇きと食事摂取量の低下は相関性がありそうだが、外来窓口では口の渇きからの食事の相談よりも、逆に肥満や生活リズムの相談が多い。体重も自己申告、栄養評価も正確にできない。評価方法を吟味、設問、アンケートでやった方が。③口腔乾燥とは言わずに、食形態について聞いてみるのはどうか。

分類を分けて選択してもらおう（例えばパンやごはんなど、食事の偏りなど）咀嚼嚥下に唾液が必要か食品群、硬さ、唾液量で）ボードなどを使って評価方法をしばってみるのはどうか。アンケートで押さえるところを押さえて行った方が良いか。アンケートを考えてみましょう。ご自身で体重を知っているかどうか。自分の体重を知らない場合も（リスクファクターとしてそういった認識として）データになる。3食食べているかどうかの調査の有用だろう。食事の内容など、スクリーニングシートがある訳ではない。自分でチェックしてもらう場合には相当簡単に分かりやすくした方が良い。

薬剤の内容検討は後から追いかけるので、ここではアンケートに盛り込むべき内容。今回は第一報としてこの地域にどれくらいの「問題」があるのかを抽出する。薬剤&食事の問題を同時抽出できる。ざっくりと、薬いっぱい飲んでると食事量や栄養状態が悪いとか、食事が楽しいかどうか（薬を飲むために食事を摂る）などで調べてみる。

5剤というのは剤の数は検討すべきか？ポリファーマシーの定義はしっかりしていない。多剤服用ではなく、多剤併用で悪い相互作用があれば。除外をしっかりとしてから、単なる5剤以上ではターゲットがわからない。薬剤の数、コリンスケール、向精神薬などポイントを絞っていけくべきか。薬局の外来でどういうところが問題なのかを抽出したい。65歳以上で、独歩で来局していて、アンケートOKしてくれる人と大まかに絞り、後ほど集計する。集計が膨大になりはしないか？

1薬局20人くらいで。薬局のスタイル、立地によっても変わる。単一薬局での偏りをなくすように。アンケートをつくる。

【盛り込みたいアンケート候補を考えて、次回ミーティングで吟味する】

次回、この会「齊坊主ウイング（仮）」5月29日（月）20：00～